

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.287】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨハン・セバスティアン・バッハ

曲名：《ゴルトベルク変奏曲》BWV 988 よりアリア (ラファエル・ヘーガー編)

演奏：ボレロ・ベルリン

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54540>

2023年5月7日のベルリンフィル小ホールでの演奏です。



その他に下記が演奏されました。

ライオネル・ベラスコ

《カルメンチータ》(ヘルムート・ニーベルレによるジャズ・アンサンブル編)

ボレロ・ベルリン

パウロ・モレーロ 《7x1》

ボレロ・ベルリン  
クルト・ヴァイル 《ニッカーボッカー・ホリデイ》より〈9月の歌〉  
ボレロ・ベルリン  
ゼキーニャ・ジ・アブレウ 《ティコ・ティコ・ノ・フバー》  
ボレロ・ベルリン  
アストル・ピアソラ 《ブエノスアイレスのマリア》より〈フーガと神秘〉  
ボレロ・ベルリン  
ナディア・ブーランジェ  
チェロとピアノのための3つの小品より第1曲「モデレ」  
(ラファエル・ヘーガー編)

ボレロ・ベルリン  
アストル・ピアソラ 《ブエノスアイレスの四季》より〈夏〉  
ボレロ・ベルリン  
パウロ・モレーロ 《One for Nib》  
ボレロ・ベルリン  
ジョージ・ガーシュウィン 《ポーギーとベス》より〈サマータイム〉  
ボレロ・ベルリン  
モーリス・ラヴェル  
《高雅で感傷的なワルツ》より第2曲「かなりゆるやかに」(ラファエル・ヘーガー編)  
ボレロ・ベルリン  
ジョルジュ・ビゼー 《カルメン》よりハバネラ(マルティン・シュテグナー編)  
ボレロ・ベルリン  
チャノ・ドミンゲス 《ドミンゲス・メドレー》(ヘルムート・ニーベル編)  
ボレロ・ベルリン

今回も PC 経由で再生してみます。

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続しています。

今回も、再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、BPODCH の再生時には、ルーター/スイッチングハブ間およびスイッチングハブ/PC 間の LAN ケーブルへの処理が関係しており、さらに電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(18)で報告した PC から Sonica DAC までの USB ケーブルや SDIF 伝送のクロックケーブルと BNC デジタルケーブルも NRF-005T の処理を行っています。なお、今回からアンプとスピーカーの間にスピーカーアキュライザー SPA-7 を介在させており、PC には Crystal E Jtunr を、スイッチングハブには LAN iSilencer もセットしています。

さらに今回からスピーカーアキュライザーの導入(14)で報告したスピーカーアキュライザーの接続を替えています。

どのようなメンバー構成か分かりませんが、ボレロ・ベルリンという名の、言わばベルリンフィル軽音楽部といったかたちでの演奏です。

メンバーはピアノ、ヴァイオリン、サキソフォン、ギター、ベース、ドラムスの奏者です。

バッハを始めとする種々のジャンルの音楽をボレロ・ベルリン風アレンジしての演奏で、いずれも気軽に楽しめる演奏です。

いつもと違う音楽ジャンルで、楽器や奏法も異なることから、どのような音での演奏になるかが興味のあるところでしたが、スピーカーアキュライザーの導入(14)で報告した内容に至る種々の対策の効果で、上記の楽器の質感がいずれもリアルに捉えられています。

以上